

企画セッション⑪

事前準備のお願い

- 参加ツールボタンの確認
 - ミュート（自分が発言する→ON）
 - ビデオ（自分の顔を映してみる）
 - 参加者（他の参加者を確認、挙手） : **名前の変更**
 - チャット（出席、質問、リアクション）
 - 反応⁺（リアクション: 拍手／賛成）
- 一文字リアクション(ローカルルール)
 - A, a: 理由 →なるほど！ へー！
 - W, w: 理由 →面白い！ 受けた！

2020.8.27
農業農村工学会
@Zoom(鹿児島大会)

農村の情報ネットワーク環境整備 と 農業農村工学

溝口勝

東京大学

大学院農学生命科学研究科



農業農村情報研究部会

- 2004年9月設立



<http://agrinfo.en.a.u-tokyo.ac.jp/>

規約

(目的)第2条

この部会は、農業農村の整備、保全、管理、維持にとって不可欠な情報整備と情報環境、情報システム、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、情報セキュリティなどに係る学術／技術の発展および部会員間の学術／技術交流に寄与することを目的とする。

(事業)第3条

この部会は、上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 共同研究の実施
- (2) 研究会、シンポジウム等の開催
- (3) 研究資料の収集・配布
- (4) その他、本研究部会の目的を達成するために必要な事項

(所属・会員)第4条

この部会は、(社)農業農村工学会に所属し、その学会員を主な構成員とするが、非学会員の加入を妨げない。

最近の勉強会のテーマ

- 2019
 - 農村地域に高度通信情報インフラが整備されたとしたら、あなたは何をしたいですか？
-Society 5.0と農業農村工学-
- 2018
 - 農業農村工学分野におけるAI利用の可能性を探る
- 2017
 - 地域の魅力発掘と情報発信ツール
- 2016
 - 農業農村を活性化するゲームアプリの可能性
- 2015
 - 次世代型農業水利サービスの展望

農業農村のインフラ整備

- 新型コロナ問題
 - オンライン会議・講義
 - テレワーク
 - 地方分権の時代
- スマート農業 & 新しい生活様式
 - 農村地域の通信インフラ整備が必要
- 農業土木(農業農村工学)の出番！
 - 水・農地・環境 + 情報



(令和2年度部会受託業務)

農業農村地域に係る情報化及び情報通信基盤 のあり方に関する調査検討

- 内容
 - 情報通信基盤を活用した農業農村の振興等に係る構想策定(総額200万円)
- 応募資格
 - 農業農村情報研究部会会員(大学教員、学生など)
- 応募件数
 - 10-20件(上限に達し次第締切)
- 報告義務
 - A4一枚程度の報告書提出
 - 3月のオンライン発表会で報告
- 応募方法
 - 近日中に部会ホームページに掲載

農村の情報ネットワーク環境整備と農業農村工学

[T-11-1] 農村の情報ネットワーク環境整備の課題

○黒田裕一・松岡宗太郎(農村振興局)

[T-11-2] 小規模離島における情報通信基盤の整備

○升屋正人(鹿児島大)

[T-11-3] 自治体における情報ネットワーク導入事例

○黄瀬信之(岩見沢市)

[T-11-4] 農村情報通信基盤整備とその先に見える未来

○安瀬地一作・遠藤和子・関島建志(農工部門)

[T-11-5] アイディアソン

情報インフラ整備で農村はどう変わるのか？

○杉野弘明・溝口 勝(東大院)